

平成 27 年(2015)

秋号

中部地区会 News

発行／静岡県放射線技師 中部地区会

発行責任／望月 浩正

編集／大瀧 篤志 滝井 剛

2015/11 発行



Index

- 第1回放射線セミナー 報告 …P2
- 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者
講習会報告胃がん講習会 報告 …P3
- レクリエーション報告 …P4
- 経過報告 行事予定 …P5
- 会計よりお知らせ …P6

会長挨拶

中部地区会の役目として、私ともども地区会幹事の方々には常日頃、放射線技師のために知って損はない情報の提供や各施設間の技師の交流に、一役代えるよう多大な努力をしてきました。微力ながらも最近その手ごたえを感じる気がします。

9月26日の第1回放射線セミナー及び胃がん講習会も多くの方々の参加をいただき、10月31日のレクリエーション行事であるボウリング大会や懇親会も短い時間ではありましたが、本当に大盛況でした。しかし個人の意見としては、まだのびしろがあると思います。これからも会員の皆様に、本会行事に参加していただけるよう幹事ともども努力を続けますので、会員の皆様も積極的な参加をお願いします。

中部地区会長 望月 浩正

平成27年度 第1回 放射線セミナー

好評のうち開催されました！

平成27年9月26日（土） 静岡赤十字病院にて

第1回放射線セミナー

MRIの最新情報 Part1

「フィリップス最新MRI -Ingenia Update 2015-」

フィリップスエレクトロニクスジャパン MRモダリティスペシャリスト

平尾 彰浩 先生

「GEヘルスケア MR最新技術のご紹介」

GEヘルスケア・ジャパン株式会社 MR営業推進部 製品企画

清水 俊博 先生

第1回放射線セミナーでは、(株)フィリップスエレクトロニクスジャパンの平尾 彰浩先生とGEヘルスケア・ジャパンの清水 俊博先生に各社のMRIの最新情報をご講演いただきました。

最初に講演いただいたフィリップスは、日本国内でMRIの販売を開始してから35年が経ち、現在、「Ingeniaシリーズ」の国内稼働は200台を超えます。今回、これまでにないまったく新しい考え方で開発したのが、MRIソリューション「In-bore Experience」です。映像と音楽、オートガイダンス、サイレントスキャンの3つが大きな柱であるIn-bore Experienceは、被検者がリラックスしてMRI検査を受けられることをめざして開発されたようです。被検者は、ヘッドコイルに取り付けられた鏡で壁面に映し出される映像を見ながら、また、ヘッドホンで音楽を聴きながらMRI検査を受けることができます。オートガイダンス機能“AutoVoice”は、息止め指示や検査の残り時間などが自動でアナウンスされ、確かな検査と被検者の不安軽減に貢献することができます。さらに、サイレントスキャン“ComforTone”は、最大80%のノイズを低減しつつ、通常の撮像と変わらない撮像時間で同等の画像を得ることができるということです。アプリケーションでは、ルーチン検査の画質を向上させる“Premium IQ”と、より高度な機能やオプション検査を追究した“Advanced MR”の紹介がありました。Premium IQは、日常の検査におけるニーズに応えるアプリケーションをそろえており、従来からあった高速撮像法“dS SENSE”に加え、動き補正の“MultiVane XD”，脂肪抑制“mDIXON XD”，金属アーチファクト抑制“O-MAR”の紹介がありました。これらは組み合わせ使用できることも大きな特長です。

続いてGEですが、SIGNA Pioneerの紹介がありました。これは、日本の臨床現場からの声を基に開発が行われました。1.5T装置からのリプレースにも対応できるコンパクトな設置スペース、経済性を実現しつつも、3T装置ならではの高画質の提供をできるということです。最大の特長は、最新のアプリケーション“MAGiC”を搭載したことです。このMAGiCは、1回の撮像でT1・T2強調画像など6つのコントラスト画像を得ることができます。また、本体側に97chのレーザーチャンネル（AD変換機）を持ち、1chごとにデジタル変換して高画質を提供する“DDI (Direct Digital Interface)”や内蔵のBodyコイルとSurfaceコイルの同時受信により高いSNRと深さ方向への信号強度の均一性を実現する“DST (Digital Surround Technology)”を搭載した。その他には、検査時の音を無音化するという“SILENT SCAN”や、快適な検査空間を作れるよう撮像テーブルの幅は56cmで超高齢化社会でも安心な寝台の最低高は52cmに下げられるという工夫も紹介されました。

各社ともこれまでMRI検査においてデメリットであった、音や時間に大幅な進歩が感じられました。現在の画像検査の中でMRIの役割は日に日に増していくことを実感しています。より多くの方々に安全、そして安心して検査を受けていただけるよう私も努力していきたいと思っております。

市立島田市民病院 鈴木 邦幸

平成27年度

第1回 胃がん検診従事者講習会

好評のうち開催されました！

平成27年9月26日 静岡赤十字病院にて

第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

「ピロリ菌感染を考慮した胃X線検査 Part 2」

今回のセミナーで講師をお願いした静岡赤十字病院 検診部長・経鼻内視鏡センター長の川田先生は、保険適応になる以前より熱心にピロリ菌除染に取り組み、静岡市における胃がん撲滅に長年に亘って貢献されてまいりました。

ヘリコバクター・ピロリ菌感染に対する除菌法は、2013年2月に保険適応になり一般に正式な治療対象となりました。また昨年度の国際がん研究機関による報告ではピロリ菌と胃がん発症の関係について、胃がんの8割についてピロリ菌感染が原因であり、除菌により胃がんの発症を3~4割減少させられるとの報告がありました。講演では普段の業務で私たち診療放射線技師が目にするX線画像だけではイメージできない、胃の内視鏡画像とX線画像を対比して供覧する機会を得ることで、実際に胃透視検査を行う際には大変有用な知見を得る機会となりました。加えて、ピロリ菌の感染、非感染者の内視鏡画像とX線画像の対比や除菌前後の胃壁炎症の内視鏡画像について丁寧に解説していただくことで、胃透視という検査に携わることのない放射線技師についてもピロリ菌の怖さや除菌の重要性について理解の深まるものとなりました。

先生は今回の講演で私たちが胃透視検査を行う上で問診という行為の重要性についても提言をされ、患者さんの声を聴くことでその情報を画像検査に活かしてほしいというお話でした。

「ピロリ菌に感染したことがありますか？」「抗生物質を服用する治療をしていましたか？」等の情報を検査前に知ること、前者ではピロリ菌感染を疑うことで胃底部ポリープなどの描出だけではなく、胃前庭部の壁構造、胃体部、胃前庭部の造影剤の付着度に着目した撮影の追加を行うこと、後者では既感染の可能性についての要因として考慮して検査を行うことで診断精度の向上が期待できるとのことでした。

ピロリ菌感染を意識して検査を行うことによって胃がんの検索だけではなく、その危険因子の一つであるピロリ菌感染胃炎や胃粘膜萎縮の診断が可能となり胃がんリスクの評価に寄与するものとなります。

私自身、胃透視検査について理解不足の点が多々あり今回の講演でご教授いただいた内容について大変有意義なものでした。私たち診療放射線技師についても、日々の業務においてステップアップが求められており、学び、積極的に医療に貢献しなくてはならない時代になりました。

読影についての補助が提言される昨今、より診断精度の高い画像情報の提供をするために一歩進んで、様々な病態についての見識を深めることでそれぞれに応じた画像情報の取得手技に精通することも重要と考えます。今回の講演を聴講させていただき、様々な場所で積極的に学び多くの知識を得るとともに視野を広げていきたいです。



静岡県立総合病院 村田昌也

レクリエーション報告

10月31日(土)に静活プラザボウルにて、ボウリング大会が開催されました。昨年よりもさらに参加者が増え49名参加、さらにその後の懇親会では36名の方々にご参加いただきました。

ボウリング大会は昨年に引き続き、豪華商品を目指し白熱したゲームが繰り広げられ、とてもレベルの高いゲームとなりました。あつという間の2ゲームでしたが怪我やトラブルもなく、無事終わることができました。懇親会は、日頃なかなか話す機会のない他施設の方々との交流の場ともなり大変盛況でした。参加された会員の皆様ありがとうございました。



男性部門・女性部門 第1位 おめでとうございます！！



懇親会も盛大に行われました。ありがとうございました！

経過報告

- 9月 3日 第2回幹事会（静岡市立清水病院）
9月 6日 静岡ふれあい広場参加
9月26日 第1回放射線セミナー及び胃がん検診エックス線撮影
従事者講習会講習会
10月31日 中部地区会リクエーション ボウリング大会・懇親会



9月6日 静岡ふれあい広場 青葉シンボルロードにて

第2回 幹事会報告

日時 平成27年9月3日 場所 静岡市立清水病院
出席者 11名（幹事+県技師会副会長）

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 1 地区会長 挨拶 | 5 レクレーションについて |
| 2 県技師会理事会報告 | 6 地区会newsの発行について |
| 3 第1回放射線セミナー及び胃がん
講習会について | 7 第2回放射線セミナー及び胃がん
講習会について |
| 4 静岡ふれあい広場について | 8 退会者の承認 |
| | 9 その他 |

行事予定

2016年3月5日（土）13時より もくせい会館 2階 第1会議室にて

第2回放射線セミナー及び胃がん講習会

平成27年度 中部地区会 総会

会計よりお知らせ

地区会は会員の皆様の会費で運営されております。平成 27 年度の会費(1000 円/年)が未納の方は下記の要領にてご送金賜りますようお願い申し上げます。

納入方法

1. 中部地区会幹事にお渡しください。

望月 浩正 (静岡市立清水病院)
大瀧 篤志 (静岡市立清水病院)
鈴木 邦幸 (市立島田市民病院)
堀 吉孝 (静岡市立静岡病院)
村田 昌也 (静岡県立総合病院)

石田 眞貴廣 (静岡済生会総合病院)
滝井 剛 (静岡市立清水病院)
大森 加奈子 (焼津市立総合病院)
野寄 ひろみ (静岡赤十字病院)
望月 尚子 (桜ヶ丘病院)

2. 業者の方にお問い合わせ下さい。

3. 会計担当までご郵送ください。

〒424-8601 静岡市清水区桜ヶ丘町13-23

独立行政法人地域医療機能推進機構 桜ヶ丘病院

放射線科 望月 尚子

(代表) 054-353-5311

*不明な点がございましたら、上記地区会会計担当幹事 望月 尚子 (ヒサコ) までご連絡下さい。

*複数人数(二名以上)が在籍されている施設では、施設ごとまとめて納入していただくと助かります。

4. 下記の銀行口座への振込みも可能です。

静岡銀行 清水南支店 店番 149
名前) 静岡県放射線技師会中部地区会

口座番号 0423200
代表 望月 尚子

*上記振込口座は今年度のみ(2016年3月まで)

次年度(2016年4月より)からは別口座になりますので注意してください。